

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立瓜破北小	学校
----------	----

児童数	55
-----	----

## 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.26	21.49	33.51	44.97	47.00	9.25	160.37	18.63	53.97
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	12.90	14.60	37.40	37.70	31.50	10.23	136.65	10.30	48.05
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

## 結果の概要

体力合計点は、男子は8項目のうち6項目、大阪市平均を上回る結果となった。体力合計点は、大阪市平均を2.84点上回り、全国平均も1.44点上回ることができた。女子は1項目のみ、大阪市平均を上回る結果なり、体力合計点は大阪市平均に4.42点届かなかった。反復横とびは、男女ともに、大阪市平均を上回る結果となった。特に男子の立ち幅とびは、全国平均・大阪市平均をかなり上回る結果となった。

児童質問紙における「運動やスポーツをすることは好きですか」に、「好き」「やや好き」と肯定的に回答した児童は、男子は88.6%で、女子は75%で全国平均・大阪市平均を上回る結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は12.6%女子は25%で、大阪市平均男子11%女子19.9%と、全国平均男子9.2%女子16.1%に比べると、男女ともに全国平均・大阪市平均を上回っている。児童の運動時間を増加させることも今後の課題である。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の授業では、各学年で「なわとびカード」や「マラソンカード」等の体育カードを活用したり、副読本を活用し、学習単元のめあてや成果などが意識できるようにした。また、学級ごとの「みんな遊び」を積極的に行い、教師も一緒になって運動場に出て児童と過ごすことで、休み時間は多くの児童が運動場や体育館で身体を動かすようになってきている。学校全体としても業間なわとびの期間を設定することにより体力向上の意欲が高まった。

トップアスリートによる「夢授業」では、フットサルの選手が来校し、6年生に「フットサル」の楽しさや技を伝え、サッカーが苦手な児童も楽しく学習でした。また昨年同様、5年生には、元全日本ラグビー選手を招き「タグラグビー」を実施した。技術面の指導とともに、楽しく取り組み、みんなで協力して応援する体育学習を味わった。4年生にはオリックスの選手による「Tボール」の学習を実施し、児童が楽しく野球に親しむことができた。今後もこれらの取り組みを継続しながら、朝ご飯を食べて登校することやテレビやスマートフォンの視聴時間を減らすことの重要性も伝え続けていきたい。